

# 大田圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成25年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H25目標	H25実績	達成率
大田-1	集約化木材生産実践プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約化マニュアルや路網整備チェックリストを作成し、モデル団地を2団地設定することができた。</li> <li>・現場横断型作業システムの実行など生産性の向上が図られた。</li> <li>・森林再生手法の検討は進まなかった。</li> </ul>	木材生産団地からの針葉樹原木生産量(m <sup>3</sup> )	17,000	22,384	132%
			集約化木材生産モデルの設定(団地)	2	2	100%
			施業提案書の提案件数(件)	39	60	154%
大田-2	松資源有効活用推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松資源については、集約化プロジェクトの連携により、大田市有林を中心とした団地の設定と次年度以降の資源搬出計画ができつつある。</li> <li>・松製品については、製材所が、従来の構造材に加え、板材製品の生産強化を検討をおこなっている。</li> </ul>	松製材品県外出荷量(原木換算:m <sup>3</sup> )	1,500	1,788	119%
大田-3	邑智郡産木材の県外販路開拓プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島でのリフォーム市場開拓の足掛かりとして、郷土会会員等へのアプローチを継続するとともに、広島での施工体制の検討、販売促進に活用するモニターハウス募集(第2弾)を実施したが、応募が無く、モニターハウスの施工に結びつけられなかった。一方で、新商品「3層パネル」のPRを兼ね、3層パネルを使ったリフォーム関連製品等のアイデア募集を開始した。</li> <li>・販路開拓に資する新商品「3層パネル」の製造・販売体制を構築し、製造・販売を開始した。積極的に県外での展示商談会に出品し、売り込みを行った。また、3層パネルPRと商品開発のための3層パネルを使った新製品のアイデア募集や、郡内役場での3層パネル製品等の展示PRを開始した。</li> <li>・連携体制の構築に向け、既存協同組合による共同事業(ストック確保のための原木調達から製品在庫管理・受注・販売)を開始した。</li> <li>・原木安定調達に向け、既存協同組合が原木市場に専用土場を開設。原木市場、森林組合と連携し、町産材を集める取組を開始するとともに、邑南町と連携し、町産材の安定調達に向けた検討を開始した。</li> </ul>	製材品県外出荷量(m <sup>3</sup> )	1,400	1,135	81%
大田-4	邑智郡菌床しいたけ産地競争力強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単価の落ち込み、コスト増大、高齢化のため生産意欲の減退は予想以上に影響が大きい。PJ計画段階に比べて、生産者数、使用菌床数共に大きく減少している。</li> <li>・このような中であって、「邑智郡菌床しいたけ『元気!』まつり」を開催することで、生産組合・JA・森林組合・郡内各町等が一体となった生産振興体制ができ、生産者の意欲向上に資することができた。</li> <li>・さらに、若い後継者(3名)が現れてきたことや、今年度就任した新生産組合長によるPJ活動への積極的な姿勢より、少しずつ地域全体の生産振興の気運は高まりを見せ始めている。</li> <li>・今後は、生産量の増加と生産コスト低減、併せて需要の拡大等に向けて取組を進める。</li> </ul>	菌床しいたけ販売高(百万円)	165	131	79%
			菌床しいたけ販売数量(t)	192	147	77%